



○第51回郷土芸能・日本音楽合同発表会（11/18、秋田ふるさと村）

11月18日（日）、横手市の秋田ふるさと村にて郷土芸能の発表会が開催され、県内9校から合計150名程度が出演し、様々な演舞を披露しました。最優秀賞には秋の芸術祭でゲスト校として来校して頂いた由利高校民謡部が選ばれておりました。本校郷土芸能部の部長さんよりコメントを頂きました。

私たち郷土芸能部は11月18日(日)にふるさと村で行われる郷土芸能全県大会に3年生4人、2年生3人、1年生1人、兼任部員2人の合計10人という少ない人数で出場してきました。私たちが披露したのは西馬音内盆踊りでした。

本番の一週間前はなかなか人数が揃わず、「合わせ」が出来なかったり、公演時間である13分の間に終われず構成に苦労したり、演奏していくうちにリズムが段々ずれていってしまったりと満足いく練習ができませんでした。ようやく全員が集まって練習出来たのはリハーサル前の金曜日でした。その頃には構成はほとんど決まっており、後は全員で合わせてみるだけでした。その構成はゆっくりな寄せ太鼓から始まり、音頭と鳥音頭を5分くらいで終わるようにし、その次の「がんげ」に時間をかけ、最後に早めの「寄せ太鼓」でしめるというものです。ストップウォッチで計ったところ約12分くらいで終えることができました。最後に満足いく演奏が出来てみんな自信を持って大会に臨むことができました。

私たちの出番は4番目で、待ち時間の間みんなあまり緊張せず、冗談を言い合い笑ったりと、とてもいい雰囲気でした。その雰囲気を壊さないようにしながら、強い気持ちを持ち30分前には会場へと向かいました。お囃子組は和楽器の最終調整をし、踊り子組は踊りの振り付けを再確認して、本番を迎えました。幕が上がったのを合図にこれまでの練習を積み重ねた西馬音内盆踊りを披露しました。結果を残すことが出来ず残念でしたが、3年間のなかで最高の西馬音内盆踊りが披露できたと思います。

来年には郷土芸能部の部員が4人しかなくなってしまいます。西馬音内盆踊りは美しい伝統です。羽後高等学校郷土芸能部はそんな伝統を後生に受け継ぐ大事な担い手だと私は思います。今いる人たちで工夫し、この先もずっとこの伝統を守ってほしいです。
(郷土芸能部 部長)



○吹奏楽部定期演奏会（11月24日、美里音）

11月24日（土）に吹奏楽部による定期演奏会が開催されました。3年生にとっては最後の演奏会となり多数の来場者の下開催することが出来ました。本校吹奏楽部の部長さんよりコメントを頂きました。

私たち羽後高校吹奏楽部は、11月24日(土)に第35回定期演奏会を開きました。当日はたくさんの方が私たちの演奏を聴きに来てくださり、感動の気持ちでいっぱいです。

羽後高校吹奏楽部は、3年生3名、2年生3名、1年生1名の合計7名で活動してきました。3年生にとっては最後の演奏会となり、不安と緊張で手が震えました。外部講師の縄野純子先生にアドバイスをいただきながら練習の毎日でした。今回の演奏会ではJAZZ調の曲やソロの演奏をする場面が多くあり、みんな苦戦しました。私は部長としてふさわしい振る舞いができるように心がけていましたが、最後まで同じ3年の部員に助けられていました。

演奏会が成功したのは、部員の助けがあつてのことだったと今も感じています。



一部のクラシックステージでは夏の県南地区大会にて演奏した“ポロヌブ”も演奏しました。今となっては良い思い出です。3年生最後の演奏会ということで、新しい試みとして歌った“花は咲く”がアンケートでも好評で、「感動して泣いてしまった」というような言葉までいただきました。歌わせていただいた身としては光栄この上ない言葉です。そして私が何よりうれしいのは、今回のコンサートで後輩たちの成長を感じられたことです。当日、転換や楽器運びの際にみんながてきぱきと動いているのをみて、心の底から安心しました。大きな失敗もなく、「私たちが引っ張っていかなくても大丈夫なのだ」と感動しました。私自身臨機応変に対応することが得意ではありません。私が部長を任されたときも、私なんかでいいのだろうかと悩んでいたのです。多少寂しくはありましたが、私は間違っていなかったと、後輩が証明してくれたようで、肩の荷が下りた気分でした。

私にとって吹奏楽は、誰かを笑顔にできる方法でした。これからは自分も笑顔になることができるイベントとして心に残り続けていくと思います。そして定期演奏会を実施するにあたって、お世話になった両親、先生方、応援してくれたクラスメイト、聴きに来てくださった地元の方々、美里音の方に感謝するとともに部員を代表してお礼申し上げます。今までありがとうございました。これからも羽後高校吹奏楽部をよろしく願います。

(吹奏楽部 部長)

○全県新人ハンドボール（11月23日～25日、大仙市大曲体育館）

男子 第3位	予選リーグ	羽後-秋田南 35-19	羽後-横手 28-12
		羽後-大曲農業 21-21	(得失点差によりリーグ2位)
	順位決定戦	羽後-大曲 25-13	
女子 第3位	リーグ戦	羽後-大曲 20-13	羽後-大曲農業 9-25
		羽後-湯沢 9-22	

○全県新人バドミントン（11月29日～12月1日、能代市総合体育館）

団体戦	個人戦（ダブルス）	個人戦（シングルス）
羽後-秋田北 0-3	土田・藤原 ベスト32	1回戦敗退

○全日本アンサンブルコンテスト予選（12月16日、横手市民会館）

全日本アンサンブルコンテスト第41回秋田県大会	県南地区予選横手大会	銅賞
-------------------------	------------	----

○湯沢雄勝アンサンブルコンテスト（12月22日、雄勝文化会館オービオン）

高等学校の部	クラリネット4重奏	銅賞
--------	-----------	----

○YOUTH TIME JAPAN project 高校生ニュースに羽後高校の記事が掲載!!!

羽後高校と道の駅が連携した活動について「高校生ニュース」として掲載されております。是非ご覧ください。
→<https://www.ytjp.jp/>（ユースタイムジャパンで検索しても閲覧出来ます）

○東北高校ハンドボール選抜大会秋田県決勝大会（1月6日、大仙市大曲体育館）

男子 第2位	トーナメント
	[準決勝] 羽後-大曲農業 21-18
	[決勝] 羽後-湯沢 15-30 *東北大会出場決定!!!
女子 第3位	トーナメント
	[準決勝] 羽後-湯沢 4-25

*男子ハンドボール部は2月1日より福島県で開催される東北選抜大会に出場することが決定しました。全国選抜の権利を目指して頑張ります!!!